

学校教育目標 重点目標

「つながろう やりぬこう」
「すすんで やる子」

前期をふりかえって

校長 望月 秀一

朝夕の涼しさに秋を感じています。先日の台風24号から自然の猛威を実感された方も多かったのではないのでしょうか。学校は大きな被害もなく良かったです。皆様のお宅等は大丈夫だったのでしょうか。台風25号も心配されます。今日で前期(101日)が終わります。子どもたちの成長した姿とこれからの課題が見えてきましたので、ふりかえってみたいと思います。

図書室の本棚が固定されていない箇所を修繕するため、5年生に本棚の本の出し入れをお願いしました。本をしまう際に、私としてはそのまま入れてもらえば良いと考えていましたが、子どもたちは、図書分類番号のAから順番に整理して入れ、同じシリーズ等も意識して並べて1時間掛けて作業をしてくれました。その姿はやる気に満ちていて、「自分たちが必要とされているんだ。」と【自己有用感】に溢れ、真剣な眼差しで、仲間と声を掛け合いながら取り組んでいま



した。正にその姿は、本校の学校教育目標『つながろう やりぬこう』を具現化した取組でした。

子どもは大人の期待に応えようと頑張ろうとします。ですが、経験の無さから失敗してしまうこともあります。大人はその失敗を責めるのではなく、温かく見守ることで、子どもはその失敗を次に生かして挑戦する勇気をもっていくのではないのでしょうか。そんなことを5年生の姿から感じました。

5・6年生は委員会活動を通して、全校児童が楽しく、潤いのある学校生活を送れるよう活動をしています。先月、読書集会、音楽集会がありました。6年生が中心になってプログラムを考え、短期間の練習の中で、全校児童が楽しめる集会を行いました。読書集会では、図書委員による大型絵本を使って



読み聞かせを行い、下級生が集中して話に耳を傾ける姿が印象的でした。図書室に関わる楽しいクイズでも盛り上がりました。また、音楽集会では、全校合唱で美しい歌声が体育館いっぱいに広がり、しっとりとした雰囲気の中でスタートしました。楽器を使っての音当てクイズも、音楽委員が実際に音を出して工夫したことで、多くの子どもたちが興味をもち、目を輝かせていました。企画運営する5・6年生は大変でしたが、集会をやり遂げ、「自

自分たちも頑張ればできるんだ。」と成功体験に基づく自信【自己効力感】をもつことが、自己肯定感を高めていくことにつながっていきます。集会を終えると6年生が最後まで残り、体育館の窓締めや戸締りを率先してやってくれました。その顔つきは最上級生としての自信に満ちたもので、この頑張りを認め、後期に向けて、さらに下級生をリードしてくれることを願っています。

9月21日から「秋の全国交通安全運動」が始まり、今宮交差点、神戸橋で、交通指導員の皆様、多くの保護者、地域の皆様が朝から子どもたちの登校を見守っていただきありがとうございました。私も参加しましたが、子どもたちの元気なあいさつがなく、残念でした。その思いを、校内放送で伝えました。「みんなの元気なあいさつを地域の皆さんは期待しているよ。あいさつで地域の人たちを元気にしていこう。」と呼び掛けました。学校教育目標「つながろう」は、自分たちのことを見守ってくださる地域のみなさんにつながっていくこともねらいにあります。地域の皆様への感謝の気持ちも育てていきたいと思っています。

本日、前期の「あらわれ」を配布します。子どもたちの頑張りを認めていただき、後期に向けての励みとなりますよう、温かな声掛けをお願いいたします。たくさんのご支援をありがとうございました。